

# 症例数にも実績の高度な義歯治療 手術用ルーペ使い繊細に歯科治療



明るい笑顔で、優しく患者さんに接するスタッフ一同



上の前歯2本が入れ歯



理事長・院長 金森 敏和

1974年北大歯学部卒業、80年北大大学院修了。81年北大歯学部付属病院特殊歯科治療部講師。82年岩手県大歯学部歯科補綴学第1講座助教授。89年苫小牧市で開業。91年医療法人社団かなもり歯科医院設立。日本補綴歯科学会専門医、指導医、日本顎（がく）関節学会専門医、指導医、日本顎咬合学会かみ合わせ指導医。日本歯科先端技術研究所（厚労省認可公益社団法人）JIAD口腔インプラント認定医、歯科エックス線優良医（日本歯科放射線学会認定）、歯学博士。



副院長 金森 敏英

2004年北大工学部社会学系卒業、11年北大歯学部卒業、12年北大病院高次口腔医療センター顎関節治療部門にて研修。歯科エックス線優良医（日本歯科放射線学会認定）、日本顎咬合学会かみ合わせ認定医。

地道な努力で築き上げた地域の信頼  
開院から来年で30年。市内の医療・介護機関関係者からも多く通院し、地域に頼られる存在だ。「腕の良い優秀なスタッフに恵まれました」。院長は、日常の診療を支えるパートナーたちへの感謝の気持ちをこう表現する。

臨床経験が豊富で修練された技量を誇る院長と、新進気鋭の副院長との役割分担も、チーム医療には欠かせない要素。院長は主に義歯（入れ歯）治療を、副院長は手術用ルーペを活用して歯を削ったり、神経を抜いたりする繊細な治療を担う。東京などで開かれる専門医学会をはじめ、札幌での研修会に、ともに出席している。北海道歯科学術大会には、院長は7年連続、副院長は3年連続口演発表、論文発表するなど重ねて向学心を高め、不断の研鑽

に余念がない。  
適切な義歯が支える健やか長寿ライフ  
超高齢社会の到来が現実のものとなり、義歯の重要性がますます高まってきた。義歯治療に関して、当院は大学病院と同じような入念な治療法を実践している。院長は、北大、さらに岩手医大でこの道の巨匠に師事。「教わったことを心の拠りどころに、丁寧な治療を心がけています。若いときに良い師匠と出会ったことは幸運でした」

ただ、患者さんに満足していただくためには「治療する側、治療される側、双方の相性も重要な要素になります。入れ歯作りは、型を採れば入れ歯ができるという簡単なものではないのです」と院長。

技工士関係者も「かなもり歯科医院の義歯の症例数は道内トップランクのはず」と太鼓判を押す。

医療法人社団 **かなもり歯科医院**

☎(0144)34-8888

苫小牧市三光町2丁目23番6号

ホームページ <http://www.toma-kanamori-shika.jp>

診療時間／  
平日／9:00～12:30 14:00～18:30  
(受付は18:00まで)  
土曜／9:00～13:15  
(受付は13:00まで)  
休診日／日・祝日



歯科・小児歯科・歯科口腔外科